

NEW!!

# あきたじん通信

令和5年5・6月号

例年より早かった桜の後、いよいよ目に染みる青い海とさわやかな新緑の山々が現れる季節に突入します。今年は山々の緑も進行が早く、もう木々には若く白い葉がまぶしく輝いています。皆様の地域でも様々な行事が数年ぶりに！活発に！！開催され、楽しみも増えることでしょう。

今号は秋田が誇る「食」と「アドベンチャー」を特集します。

秋田の食文化は海も陸も《天然》の最高品質！！が売りです

天然「真鯛」！！



引き締まった身が絶品！

天然「北限のとらふぐ」！！



3年前にこの存在を知って、その意外性に驚いたと同時に、漁獲のピークが5・6月だと知って、今年こそは初体験！と今から生活費を引き締めています。

ふぐと言えば冬のイメージですが、秋田は10・11月には漁獲量が減ってしまうそうです。そのため、5・6月に収穫すると大半が関東・関西に飛んでしまうため、地元でも『北限のとらふぐ』は稀少価値だそうです。

秋田は日本海の荒波で鍛えられた魚が超美味。『天然真鯛』は各地で獲れますが、日本海の本真鯛は一味違う貴重な食感。養殖とは比較になりません。関東では近畿・四国や九州産の養殖が主流ですが日本海・秋田の天然真鯛に出会い、やみつきです。

秋田県の収穫量は、全国で8番目前後ですが、日本海・男鹿の海には感謝しなければなりませんね。真鯛意外にも、太平洋産よりも締まって弾力がある『ひらめ』や『やりいか』等も《誇れる日本海の幸》です。初夏にかけて秋田の真鯛と日本酒で『乾杯！！』



2023「男鹿の鯛まつり」

5月15日(月)-6月30日(金)

※ 詳細は下記「男鹿ナビ」でご確認ください。

<https://oganavi.com/tai/>

5月13日(土)・14日(日)はキックオフイベントを開催！！



『PRIDE FISH』

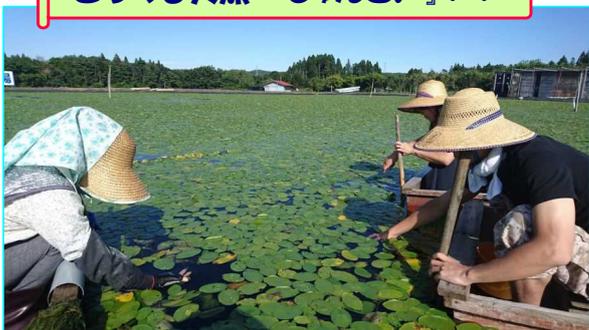
秋田県ではハタハタ・にかほ本ずわいがにと、この『北限のふぐ』がJF全漁連が定める「漁師が厳選した魚」=PRIDE FISHに選定されています。

※全漁連:秋田県の『PRIDE FISH』



<https://www.pride-fish.jp/JPF/pref/ind-ex.php?pk=157663751>

こちらも天然「じゅんさい」！！



三種町の「トウルリンじゅんさい」は6月・7月が最盛期  
白神山地から流れる水や湧き出る地下水の恵みで育っています。

※ 5月10日(水)より「じゅんさい摘み取り体験」がスタート



7月1日は「じゅんさいの日」

日本ではもう26県で絶滅や絶滅危惧種指定されている貴重食です。

三種町森岳じゅんさいの里ホームページはこちら

<https://junsaijapan.com/>

自然が豊かで広大な敷地を活かし、様々なアウトドアやアドベンチャーツアーが人気急拡大中です。体に無理のないハイキングやアクティビティ等にご家族で参加し、思い切り美味しい空気を吸って健康的な時間を過ごしましょう。この数年間のうっぶんも一気に吹き飛ばすこと請け合いです。

寒風山パラグライダー



寒風山  
パラグライダーズクール

<https://www.asoview.com/base/2105/>

年齢問わず「鳥のように自由に空を飛びたい」との夢を持っていると思います。寒風山の360度大パノラマを空から驚づかみできるパラグライダーは最適。晴れた日には鳥海山まで弓形の海岸線が見られて感動体験になる事必須！プロと2人でのタンデム飛行なら安心です。

十和田湖ポートアドベンチャー



(運営：GURILAND)  
(社)十和田湖国立公園協会

<https://towadako.or.jp/marugoto-taikan/>

秋田県と青森県にまたがる十和田湖に日本で初のRIBツアーが4月から開催中です。5・6月には気温も高くなってボートツアー最適の季節。いくつかのツアーコースがありますが、中でも秋田県側の洞窟や遺跡を巡るコースはお薦め、このツアーで初めて発見された「キリスト像」も見られるんだそうです。

TAZAWAKO OUTDOOR TOUR



田沢湖  
キャンプ&ツアーガイド

<https://tazawako.net/tour/>

近年アウトドア・イベントが著しく充実している田沢湖では6月3日(土)からこのラフティングツアーが開始されます。小学生以上なら誰でも参加でき、玉川の清流を下ります。途中ちょっとスリルも体験できるのがお薦め。水着で川泳ぎやダイブも。



こちらが十和田湖の特別保護区を軍用ボートで探検するパワースポットクルーズ、詳細については上記URLからご確認ください(運営：リブパイオニア)。

ドラゴンアイ



八幡平ドラゴンアイ  
(仙北市観光情報)

[https://www.city.semboku.akita.jp/sightseeing/spot/01\\_kagaminuma.html](https://www.city.semboku.akita.jp/sightseeing/spot/01_kagaminuma.html)

「ドラゴンアイ」(鏡沼)及び「ドラゴンの涙」(メガネ沼)実はどちらも秋田県側に位置しているのですが、秋田県の観光客は案外少ない印象があります。八幡平展望駐車場からは20分程の軽いハイキングコース。雪が歩道に残っているので、滑りにくい靴でおいでください。



こちらは田沢湖カヤックツアーで既に運営開始済み。田沢湖が誇るコバルトブルーやエメラルドグリーン湖水を、のんびりゆったりと漕ぐカヌー。ご家族ならば4歳からOK(70歳以上の方は事前にお問い合わせください)。

1人からでもお申し込み可能なので楽しめます。

『美の国秋田』HP(ドラゴンアイ発信局)では、定期的に関眼情報を発信しているので、ご参照ください。  
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/40618>

秋田県では、この他にも新緑の感動的な景勝地が豊富に揃っています。「世界自然遺産・白神山地」は遺産登録30周年の記念年に当たります。

「あきたじん」投稿のご相談等はこちらまで

秋田県 あきた未来創造部 あきた未来戦略課  
県人会等担当：長瀬 孝・小松 康宏

電話：018-860-1232  
FAX：018-860-3870

E-mail：akitajin@mail2.pref.akita.jp

